種名	ジャノメチョウ Minois dryas
分類	ジャノメチョウ科
形態	前翅長 28～42mm。♂は地色が黒褐色、♀は茶褐色でより大きく、眼状紋も発達する。
分布	北海道（利尻島・礼文島などを含む）、本州、四国、九州。
出現期	年 1 回、7～8 月に見られる。2～3 齢幼虫で越冬する。
生態	明るい草原に多く、平地の河原やススキ原などにも棲む。草の上をゆるやかに飛び、アザミ類、クガイソウなどで吸蜜する。獣糞、腐果で吸汁する。
食樹	イネ科のススキ、コメススキ、カヤツリグサ科のショウジョウスゲ、ヒカゲスゲなど。
幼虫 （幼生期）	体長 40mm。地色は黄褐色、黒褐色の縦縞がある。卵は地上に放卵され、地表で蛹化する性質をもつ。

出現時期	（月）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		－	－	－	－	－	－			－	－	－	－

その他	

参考文献：検索入門　渡辺康之著　チョウ